

地域で長年日雇労働者として働いてきた M さん（71 歳）。アルコール依存症の治療を受けながら、医療や居住を支援するスタッフの方々に見守られて、10 年間お酒をやめています。今回医療機関から「表彰」を受けました。今月号では、M さんと彼を支えてきた人たちにお話を聞きました。

ご本人に
聞きました



Mさん

西成に来て半世紀

最初自衛隊に入ったけど、なんか違ったからすぐ辞めた。そのまま西成に来て、日雇い生活を始めた。いろんな飯場に入って、いろんな所に行ったね。手元仕事なら何でも一通りやった。手元のエキスパートやったよ。

一番良かったのは、1970 年の大阪万博の頃だね。若かったし、景気も良かった。当時は 24 時間の突費工事現場に入って、よう働いて、酒もよう飲んだ。

お酒をやめたきっかけ

10 年程前に肺がんを患ったんが、酒をやめるきっかけ。



手術後に医師から「酒をやめないと、がんが再発しても次の手術はできないですよ。命か酒かのどちらかだよ」と言われて、酒をやめなきゃ仕方ないと思った。釜ヶ崎支援機構に相談して、今住んでいるサポーターティブハウスに世話になることになった。

今の楽しみは、クリニックの例会に通うこと

確かに我ながら 10 年経ってみて思うのは、酒を「やめる」ということは自分にはできなくて、酒を「止めている」という感じがなあ。

今日は飲まないでおこうとか、今は飲まずにいようとか思ってたってきた。いろんな人に世話になって、おかげさまで 10 年経ったという感じがなあ。今、一番の楽しみは、クリニックに通って「わしがおらんと準備がでらん、やれやれ」と思っているが、例会の準備を手伝っています。

久しぶりの「仲間は今」です

1日1日の積み重ねで10年...

—おかげさまでいろいろな人にお世話になりました—

入居先オーナー Y さん

Mさんと一緒に
歩んできた10年間



Mさんが入居されたのは、10年前。体調を崩して大きな手術を受けた後でした。最初はきつと、ちよつとやめてみようかなあ位の感じだったと思います。

うちの入居者で
Mさんの断酒期間は
最長記録です!!

今回、表彰状を額に入れてもらってきたので、記念撮影しました。うちはもともと、お酒をやめる目的で入居される方が多いんです。今まで一番長くやめておられる方で最長 7 年でしたから、Mさんは最長記録になりますね。Mさん、どうかこれからも元気で長生きしてください。

いつも周囲の人たちの「いさよ」を気にかけて

Mさん、断酒 10 年おめでとうございます。

断酒治療プログラムとデイケアへ参加することになり、通院された当初は戸惑われたことと思います。

私がデイケアスタッフとして Mさんと一緒に過ごしてみて、印象的なことがいくつかあります。

食事の際、Mさんは必ず他のメンバーが食事の準備が終わったのを確認した後、最後に自分のご飯をよそい、お茶などで汚れた台を拭いてから席につかれます。

また、プログラムの前後にはスタッフと共に準備・片付けをしてください。

Mさんのような人柄からは、酒を飲んで泥酔している姿を想像するのはなかなか難しいことです。

ベテランになったから先頭をいくのではなく、他の方を気にかけて、周りを整えていかれる謙虚な姿に頭が下がる思いです。他にも、きれいな色を組み合わせて服装を選ばれたり、他の方を楽しませようと小物を持ってきたり、こまやかな色鉛筆画など、私たちの生活に彩りを添えてくださるのもひそかに楽しみにです。

これから仲間の中で一日一日を重ねていってください

アルコール依存症の専門クリニックに来たからと言って、酒がやめられるわけではありません。飲みたい気持ちが消えるわけでもありません。

これから、断酒の歩みをとめず、仲間の中で一日一日を重ねていってください。



医療機関スタッフ K さん

求人情報

地域の現金求人状況は、前年度より少し増となっている。求人者からは「宿舎に入る労働者が少なく、その分いつもより早く現金求人を行なっているが、労働者の確保が難しい」といった声を聞く。建設業の就業人口がこの 20 年で 150 万人減少し、現在、現役労働者の 36% を占めているのは 55 歳以上の人たちだ。

国は「防災・減災、国土強靱化のための 5 か年加速化対策」を業界団体とともに開始している。大阪では万国博覧会や統合型リゾート建設などもあり、若い人を建設業に呼び込むことは緊急の課題だ。国土交通省は「建設業働き方改革加速化プログラム」を実施しており、週休二日の促進やキャリアアップシステムの加入促進、社会保険加入の徹底などが柱になっている。また下請の重層化を防ぐために下請の次数制限も呼びかけられている。2024 年度からは、建設業においても、罰則を伴う残業時間の上限規制も行なわれる。

忘れないでほしいのは、雇用の調整弁とされてきた日雇労働者を切り捨てる政策にしないことだ。

8月の地域求人数 (速報値)	対前月増減比	対前年同月増減比	
現金(日払い)	14,710	-2.4%	0.9%
契約(延べ数)	13,958	3.7%	24.5%
高齢者清掃(ほか)	5,508	4.6%	4.2%

森先生の詰め将棋(二手詰)

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							王	将
							飛	龍
							香	車

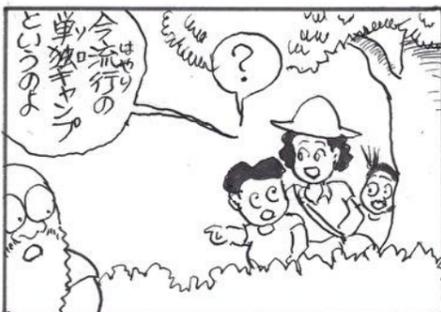
答えは裏面に掲載

カマヤん ありあつ

中途退職するときは必ず申し出を

6つの
ポイント
解説

契約の満期前に黙って退職したが、働いた分の賃金を請求したい、という相談が今も昔も変わらず寄せられます。それぞれの理由や思いがあることと思いますが、請求と精算にかかる手間や時間を考えると、退職の際は、きちんとその旨を責任者に言って精算することが大切です。



① 仕事を辞めるときは

・退職の申し出
・賃金の請求
の二つを必ずしましょう。
労働契約の当事者はあくまでも労働者本人と事業主ですから、賃金請求は本人がしないとけません。
賃金の請求をしたにも関わらず支払ってくれなかったり、話がこじれたときは、現地の労働基準監督署へ相談に行きましょう。



② 無断退職は結局「損」

黙って辞めて、何日も空けてしまうと、賃金の支払いが遅れたり、宿舍費の控除日数をめぐってこじれたりします。
例えば、事業所が「帰りを待って部屋をそのままにして空けていた。また、いつ帰ってもいいように3食とも業者から取り寄せていた。結局無駄になったが、あなたのために使った必要経費だから、連絡がついた今日までの宿舍費を払ってください」と主張することがあります。

将棋愛好者のつどい 開催のお知らせ

今年も森先生が来てくれます



開催日時:10月18日(火)13時~16時
場所:西成労働福祉センター事務所内

イベント内容

- ・指導対局 ・上達講座
・クラス別トーナメント戦ほか

事前申込制です

~みなさん、お気軽に参加ください~

参加の際は新型コロナウイルス感染対策に協力をお願いします。
詳しくは労働福祉窓口までお問合せください。

③ 賃金を受け取るときは

必ず明細書をもって、内容を確認してから領収書にサインしましょう。よく確認せず退職して、後からおかしいと気付いても話がこじれてしまいます。
精算のときに確認できるよう、諸式や出面を毎日控えておきましょう。
センター窓口で「出面帳」を配布しています。



④ 仕事に行くときは労働条件を確認

中途退職を避けるためには、仕事に行く前の確認がとても大切です。労働時間・賃金・宿舍費・現場・作業内容・契約期間など、求人担当者に遠慮せずきちんと納得がいくまで確認しましょう。
事業主に雇い入れ通知書を書いてもらって、持っておくとよいでしょう。



⑤ 雇い入れ通知書とは?

雇い入れ通知書は、会社名や労働条件について記入しなければならないことになっています。これがあれば、後で条件が違った場合や労災になったとき、証拠になります。

⑥ 割増賃金について

精算の際は、割増賃金の計算に注意しましょう。早出・残業・深夜等の手当の割合は法律で定められています。
■超過勤務手当
1日に8時間を超えて働いたとき
■深夜労働手当
午後10時~翌朝5時までの間に働いたとき
どちらも時間給の2割5分増以上

ご相談は労働福祉係まで

募集中の選考会型講習

講習科目	受付期間	選考説明会	講習日
ガス溶接② 2日間	~9/26(月)	10/5(水)	10/15(土)・10/22(土)
車両系(整地ほか用)⑤ 5日間	~9/26(月)	10/6(木)	10/17(月)~10/21(金)
車両系(解体用)③ 1日間	~10/6(木)	10/20(木)	10/29(土)

これ以外にも、随時型講習や職種転換型講習などあります。くわしくは技能講習窓口までお問合せください。

無料結核健診



誰でも健診が受けられます

- 9月20日(火) 10:30~12:00 阪堺電車沿い(萩之茶屋地域東部)
- 9月27日(火) 10:00~11:30 萩之茶屋南公園(三角公園)南側
- 10月11日(火) 13:30~15:30 西成労働福祉センター(特掃登録)

詰将棋の解答

▲1二飛成△同香▲3一角まで
初手▲2三飛成は△同銀▲3一角に△1四玉で逃げられる。
▲1二飛成が正解で、△同香に▲3一角までの詰み。

環境整備紹介日	
業務内容:ゴミ収集 分別作業 および 地域内の不法投棄パトロール 駐輪対策 など	
雇用期間:	朝作業班 4日間 昼作業班 6日間 夜間巡回班 3日間
紹介時間:10時20分	
29回目	9月16日(金)
30回目	9月22日(木)
31回目	9月29日(木)
32回目	10月6日(木)
33回目	10月13日(木)

板倉 義次郎さん(奈良県 73歳)

たずね人

プロシエクトOSAKA相談会が開催される。

差ヶ崎日記

北海 護

ふるさとの満点星座 鮮やかに

投稿